

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年07月18日

計画の名称	安来地区中心市街地の安心まちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	安来市												
計画の目標	<p>安来市では、防災対策における重点的な取り組みとして、災害時に速やかに避難できるよう地域ごとに避難場所等を設定することとしています。安来地区の中心市街地は、公共交通、行政サービス、商業・業務機能などの都市機能が集中する区域であるとともに、古い家屋が密集し、また木造建築が多い区域でもあります。このため、震災による家屋の倒壊や大規模な火災が発生した場合の緊急避難場所の整備が必要となっています。</p> <p>安来地区の緊急避難場所が配置されていない区域のうち、特に防災上脆弱な中心市街地エリアにおいて、地域防災計画で指定避難所に位置付けられている十神小学校の周囲に防災公園の整備や市単独事業として防災公園に隣接する通学路に接続した市道川尻3号線の歩道を整備することで、防災性と子供の安全性を総合的に向上させます。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	265	A	265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成28年度当初		平成30年度末
1	<p>・中心市街地エリアに緊急避難場所として防災公園を整備することで、災害時における一時避難者の収容人員の強化を行います。</p> <p>中心市街地エリアの緊急避難場所収容人数の拡大、中心市街地エリアの一時的な避難所の収容拡大人数 収容人数を 1人/2㎡で積算</p>	0人	人	1050人
2	<p>・近隣小学校児童の通学途中の緊急避難経路として市道川尻3号線の歩道を整備することで、災害時に防災公園へ避難できる児童数の向上を図ります。</p> <p>災害時に防災公園へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数の向上、 災害時に防災公園へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数 災害時に防災公園へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数/当該通学路を利用する児童数</p>	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	安来市	直接	安来市	—	—	都市防災総合推進事業（ 地区公共施設等整備）	防災公園の整備（1箇所 0. 28ha）	安来市	■	■	■			265	—	—
											小計						265		
											合計						265		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

安来市において評価を行い確定

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

安来市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

安来地区の中心市街地の緊急避難場所として、防災棟（要支援者）100人、防災広場950人の避難を受け入れる整備が完了できた。  
十神小学校の通学児童が緊急時に安全に防災公園まで避難できるよう歩道整備を実施した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

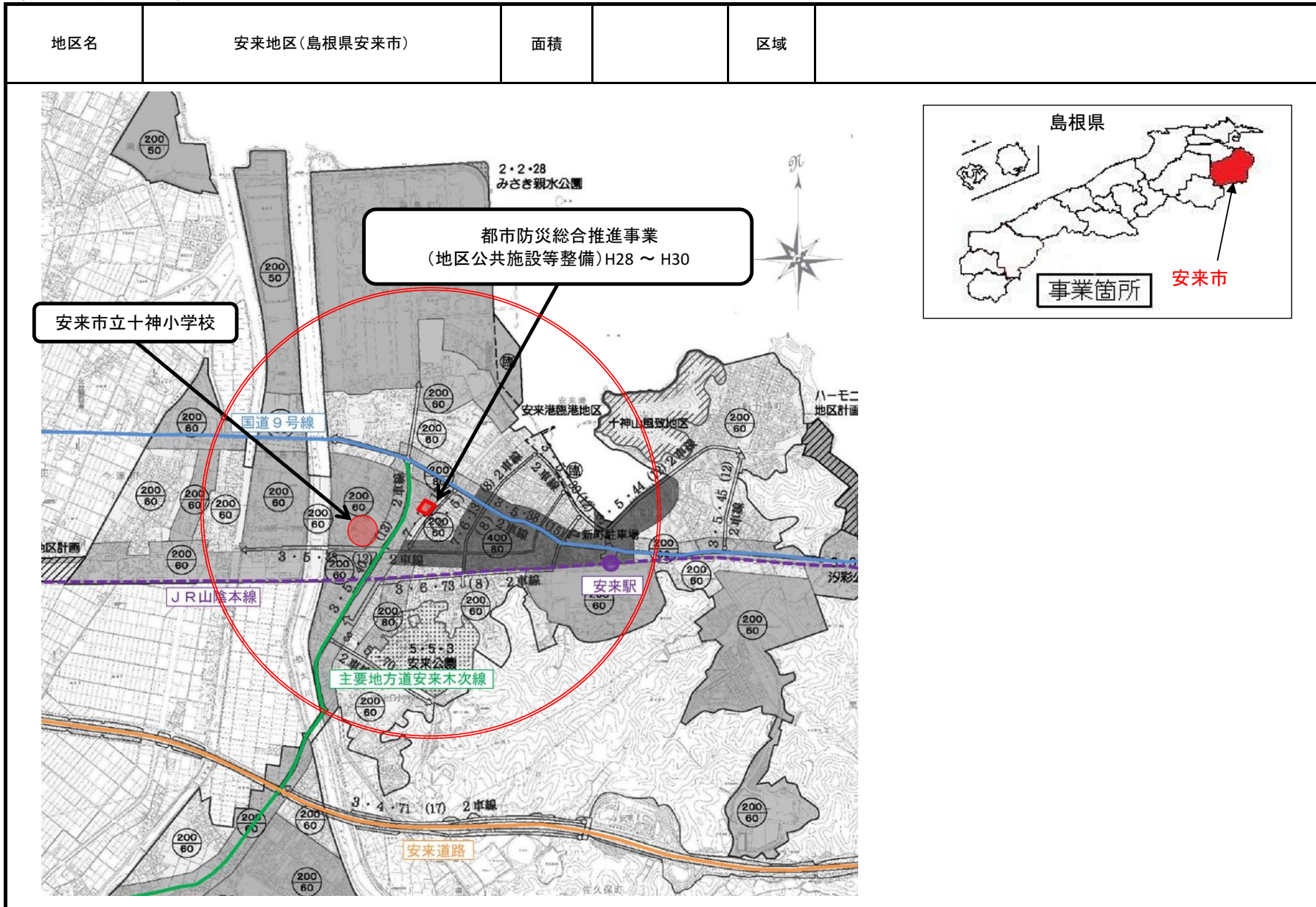
防災用マンホールトイレや備蓄倉庫、防災パーゴラ等を整備し、避難場所としての機能する施設整備を図ることができた。

○特記事項（今後の方針等）

防災備品等の展示や防災DVDの視聴コーナーにより市民の防災意識向上を図る。  
緊急時に備えた防災訓練を実施する等、整備施設の機能が有効に発揮できるよう平時の活用を検討する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中心市街地エリアの緊急避難場所収容人数	
	最終目標値	1050人
	最終実績値	1050人
2	防災公園へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(様式6) 現況図 等



(様式6) 現況図 等

